

令和7年度(2025年度)

小学校生活科用

「新編 あたらしい せいかつ」 年間指導計画作成資料 【1年(上巻)】

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数, 主な学習活動, 評価規準などは, 今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	どきどき わくわく 1ねんせい			教科書のページ	上 p.1～13
配当時数	8 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	(1)

単元の目標	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育での経験を思い起こしながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりし、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようになる。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方や友達のよさに気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けている。	学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
どきどきわくわく1ねんせい ・幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりする中で、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、遊びや学習をしていこうとすることができるようになる。	8 +国語 4 2/3 (書写 2/3) +算数 2 +音楽 1 1/3 +図工 1 2/3 +体育 4 1/3 +道徳 1 +学活 5	<u>はじめまして きょうしつ</u> 1日目:学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 2日目:名刺をつくって自己紹介をする。 3日目:校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 <u>はじめまして ともだち</u> 4日目:教室や校庭で遊んだりして、友達と関わる。 5日目:学校や校庭を歩いたり、生き物を探したりする。 6日目:学校生活について話したり、人数集めゲームをしたりする。 <u>はじめまして がっこう</u> 7日目:学校の中をみんなで歩いてめぐり、見付けた物を友達と話す。 8日目:学校をみんなで歩いたり、校庭で遊んだりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。	[知技] 学校の施設の使い方や、友達のよさに気付いている。 [思判表] 幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いている。 [態度] 友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。
p.4～9			

単元名	がっこう だいすき			教科書のページ	上 p.14～25
配当時数	12 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(1)

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようになる。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
ともだちと がっこうを たんけんしよう			
・学校のことを知りたいという思いをもち、自分の教室と比べながら学校を探検する中で、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。 p.16～17	3 +国語 I	① みんなで行った場所を思い出し、班ごとで探検に行く。 ② 見付けた物、こと、会った人について伝え合い、もう一度班ごとに学校探検に行く。 ③ 前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。 ④ 見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。	【知技】 学校の施設の特徴に気付いている。 【思判表】 自分の教室と比べながら、学校の施設の特徴を探している。 【態度】 学校のことを知りたいという思いをもち、行きたい場所を選んで探検しようとしている。
がっこうにいるひとと なかよくなろう			
・自分との関わりを思い描きながら学校にいる人に話したり質問したりする中で、学校にいる人々の働きや役割に気付くとともに、ルールやマナーを守って探検しようとするができるようになる。 p.18～19	4 +国語 I	① 教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合う。 ② 聞くときに気を付けることを確認し、聞きに出かける。 ③ 分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。 ④ もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。 ⑤ 探検を振り返り、分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。	【知技】 学校にいる人々の働きや役割に気付いている。 【思判表】 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。 【態度】 学校の施設ごとの特徴に応じて、ルールやマナーを守って探検しようとしている。
がっこうで みつけた ことを つたえよう			
・学校の施設やそこにいる人々との関わりを意識しながら	3 +国語 I	① 学校探検で見付けた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決	【知技】 自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支

がら自分なりの方法で表現する中で、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付くとともに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとすることができるようになる。 p.20～21		める。 ②伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。 ③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。 ④友達の話を聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。	えられていることに気付いている。 [思判表] 学校の施設やそこにいる人々との関わりを意識しながら、自分なりの方法で表現している。 [態度] 自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられていることに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとしている。
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩く活動を通して、通学路の様子や、安全を守っている施設や人々の存在に気付くとともに、自分の登下校が安全を守る人々や施設に支えられていることを実感し、これからも安全に登下校をしようとするができるようになる。 p.22～23	2	①教頭先生などから学校の安全についての話を聞き、通学路にある、安全を守るための物や人について話し合い、みんなで学校の周りを歩く計画を立てる。 ②学校周辺の通学路の1コースをみんなで歩き、気付いたことを話し合う。	[知技] 通学路の様子や、安全を守っている施設や人々の存在に気付いている。 [知技(習慣や技能)] 通学路を歩く際、安全に気を付けて行動している。 [態度] 自分の登下校が、安全を守る人々や施設に支えられていることを実感し、これからも安全に登下校をしようとしている。

単元名	はなを さかせよう			教科書のページ	上 p.26～37
配当時数	8 時間	活動時期	5～9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たねを まこう			
・花を咲かせたいという思いをもち、たねを観察したり比べたりしながら植物の特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 p.28～29	2	① 幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花を確認したり、実際にたねを観察したりしながら育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ② たねまきをした感想を友達や先生に話したりカードにかいたりする。	[思判表] 観察したり比べたりしながら、植物の特徴を探している。 [態度] 花を咲かせたいという思いをもち、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとしている。
はなを そだてよう			
・幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら世話の仕方を決め、世話をする中で、自分の育てている植物が成長していることに気付くとともに、成長の様子に応じて、世話を工夫しようとするができるようにする。 p.30～31	1	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。 ① 植物の世話をしている気付いたことを紹介し合い、よりよい成長のために必要なことについて話し合う。	[知技] 自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら、世話の仕方を決めている。 [態度] 育てている植物の成長の様子に応じて、世話を工夫しようとしている。
はなの ようすをつたえよう			
・植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりするとともに、自分が世話を工夫したことで自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付くことができるようにする。 p.32～33	2	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 ①～② 咲いた花の写真を撮ったり、これまで撮りためた写真やカード、動画等を見たりしながら、開花の喜びを伝え合い、自分の世話を振り返る。	[知技] 自分が世話を工夫したこととで、自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付いている。 [思判表] 植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりしている。

たねをとろう			
・植物のたねを集めたり、栽培活動をまとめたりする中で、植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとすることができるようにする。 p.36～37	3	常時活動 休み時間などを使って植物を観察し、たねを集める。 ①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。 ②これまでにかいた記録カードや撮った写真を活用して、これまでの栽培活動を振り返り、友達や先生と話す。 ③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくったりする。	[知技] 植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。 [態度] 世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとしている。

単元名	なつが やってきた			教科書のページ	上 p.38～51
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物をつくったりして、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公共物や公共施設を安全に正しく利用しようとしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたりすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを楽しんでいる。	夏の自然と関わる活動を通して、公共物や公共施設を安全に正しく利用したり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて なつを さがそう			
・校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しむ中で、動植物や風、光など、校庭の自然の様子や特徴に気付くことができるようにする。 p.40～41	2	①校庭で、動植物や風、光などを探したり、それらの様子を観察したりする。 ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、気付いたことを、話したり見せたり記録カードにかいたりする。	[知技] 動植物や風、光など、校庭の自然の様子に気付いている。 [思判表] 諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しんでいる。 [態度] 校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、動植物や自然の特徴を探そうとしている。
こうえんで なつを さがそう			
・公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊ぶ中で、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付くとともに、身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしてすることができるようにする。 p.42～43	3	①～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて発表する。	[知技] 動植物や風、光など、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 屋外での活動に際し、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めている。 [態度] 身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしている。
みずで あそぼう			
・夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、これまでの経験を基に自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、身近な自然や身近にある物を利用して遊ぶ中で、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、	2	①これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。 ②水を使って遊んだり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、みんなで遊ぶ。	[知技] 身近な自然や身近にある物を利用して、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。 [思判表] これまでの経験を基に、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、遊んでいる。

粘り強く遊びを楽しもうとすることができるようになる。 p.44～45			[態度] 夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、粘り強く遊びを楽しもうとしている。
あめあがりの こうていを たんけんしよう			
・雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、天候によって、身近な自然の様子が変化することに気付くことができるようになる。 p.46～47	外	・雨上がりの自然との関わりを楽しむ。 ・晴れの日との違いから、雨上がりの自然の特徴について見つけたことを発表したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 天候によって、身近な自然の様子が変化することに気付いている。 [思判表] 晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、雨上がりの校庭を探検している。
なつの ことをつたえよう			
・夏の活動を振り返る中で、夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付くとともに、自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 p.48～49	I	❶夏の活動を振り返り、グループごとに言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介し合い、これからしてみたいことなどについて記録カードにかく。	[知技] 夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。 [態度] 夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。

単元名	いきものとなかよし			教科書のページ	上 p.52～61
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付いている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物の育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
むしをさがそう			
・幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探す中で、虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付くことができるようにする。 p.54～55	3	① 単元扉の写真を基に、校庭のどこに虫がいると思うか、これまでの経験を想起しながら伝え合う（話す）。 ② 虫を探したり観察したりする。 ③ 校庭のどこでどんな虫を見つけたかを伝え合う。	[知技] 虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付いている。 [思判表] 幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探している。
むしとなかよくなろう			
・虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現する中で、校庭の虫の様子や特徴に気付くとともに、それらに親しみをもち、これからも生き物を大切にしようとするようにする。 p.56～57	3	①～② 校庭で虫を探し、捕まえ、教室で虫の動きや特徴を観察する。 ③ 虫の動きや特徴について、友達と話したり動作化をしたりするなど、さまざまな方法で伝え合う。虫を元いた場所（捕まえた場所）に帰す。	[知技] 校庭の虫の様子や特徴に気付いている。 [思判表] 虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現している。 [態度] 虫に親しみをもち、元いた場所に帰すなどして、これからも生き物を大切にしようとしている。
どうぶつのせわをしよう			
・小動物が元気に成長できるように、小動物の立場に立って関わり方を見直ししながら、適切な仕方で世話をするとともに、それらが生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。 p.60～61	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	[知技] 小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 [思判表] 小動物の立場に立って関わり方を見直ししながら、世話をしている。 [態度] 小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

単元名	たのしい あき いっぱい			教科書のページ	上 p.62～77
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	(5) (6)

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や季節の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしていくことができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて あきを さがそう			
・校庭に出かけ、幼児期や日常の経験を思い起こしながら秋の自然の特徴を探し、色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の样子の違いに気付くことができるようにする。 p.64～65	3	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の样子の違いに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしながら、秋の自然の特徴を探している。
こうえんで あきを さがそう			
・秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探し、身近な公園の自然の样子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.66～67	3	①～②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 身近な公園の自然の样子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。 [思判表] 秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探している。
はっぱや みで あそぼう			
・秋の自然物のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりする中で、葉や実など、秋の自然の特徴に気付くとともに、季節の特徴や自然の変化に応じて秋の遊びを楽しもうとすることができるようにする。 p.68～69	3	①～②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりする。 ③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 葉や実など、秋の自然の特徴に気付いている。 [思判表] 秋の自然のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりしている。 [態度] 季節の特徴や自然の変化に応じて、秋の遊びを楽しもうとしている。

あきの ことを つたえよう			
・秋の自然と関わった活動を振り返り、自分なりの秋のお薦めを選んだり伝えたりする活動を通して、季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これから季節の遊びを楽しもうとすることができるようになる。 p.70～71	1	①秋の自然の中で活動したことについて、これまでの表現作品や写真などを見返したり順序を考えたりしながら振り返り、秋のお薦めを選び、友達と紹介し合う。	[思判表] 秋の自然と関わった活動を振り返りながら、自分なりの秋のお薦めを選び、伝えている。 [態度] 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これから季節の遊びを楽しもうとしている。
あきの おもちゃをつくろう			
・秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、さまざまな自然物を比べたり試したりしながらおもちゃをつくる中で、自然の中に一定のきまりがあることに気付くとともに、粘り強くおもちゃをつくらうとすることができるようになる。 p.72～73	7	①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。 ②～⑤おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。 ⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。	[知技] いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。 [思判表] さまざまな自然物を比べたり試したりしながら、材料を選び、おもちゃをつくっている。 [態度] 秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、粘り強くおもちゃをつくらうとしている。
いっしょに あそぼう			
・園児の気持ちを想像しながらつくったおもちゃで一緒に遊ぶ中で、自分が遊びを創り出したことでみんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも遊びを創り出そうとすることができるようになる。 p.74～75	4	①～②自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。 ③自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。 ④おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。	[知技] 自分が遊びを創り出したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 [知技(習慣や技能)] みんなで創った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。 [態度] 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。

単元名	じぶんでできるよ			教科書のページ	上 p.78～85
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
いえでの せいかつを みつめよう			
・家の人の生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直すことを通して、自分の生活リズムを整えようとするとともに、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付くことができるようにする。 p.80～81	3	①～② 家庭で自分が毎日していることを調べたり、家の人の生活を見たり聞いたりして調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。 ③ ワークシートを基に、自分の生活の様子や家の人の生活を比べて気付いたことについて話し合う。	[知技] 家庭において、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 家庭において、自分の生活リズムを整えている。 [思判表] 家の人の生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直している。
じぶんでできることをしよう			
・家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができるところを決めたり実際にやったりする中で、家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付き、家庭での自分の役割を果たそうとすることができるようにする。 p.82～83	6	① 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。 家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 ② 調べてきたことを伝え合う。 ③ 家庭で自分ができるところを考え、実施する計画を立てる。 家庭 自分ができるところに取り組む。 ④～⑤ 自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできるところを考え、記録カードにかく。 家庭 自分が考えたところに取り組む。 ⑥ 家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。	[知技] 家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付いている。 [思判表] 自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができるところを決めている。 [態度] 家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。

これから つづけよう			
・活動前の自分と今の自分を比較してできるようになったことを話す中で、自分自身が家庭を構成している大切な一員であることに気づき、これからも家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようにする。 p.84～85	3	❶さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。 家庭・常時活動 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む(1週間程度)。 ❷自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。 ❸(期間をおいて)自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	[知技] 自分自身が家庭を構成している大切な一員であることに気付いている。 [思判表] 活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。 [態度] 家の人の反応や願いなどから、自分が家庭の大切な一員であることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。

単元名	ふゆを たのしもう			教科書のページ	上 p.86～101
配当時数	10 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	--

単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて ふゆを さがそう			
・季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探中で、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気付くとともに、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 p.88～89	2	①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを話したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 校庭の自然の様子が、冬になって変化していることに気付いている。 [思判表] これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探している。 [態度] 季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。
こうえんで ふゆを さがそう			
・自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わる中で、公園には自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.90～91	3	①～②ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 公園には、自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付いている。 [思判表] 自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わっている。
そとで あそぼう			
・自然現象を生かしたおもちゃをつくり、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら遊ぶ中で、自然現象の中に一定のきまりがあることに気付くことができるようにする。	3	①風などを利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。 ②風を利用したおもちゃをつくり、友達と一緒に遊びを楽しむ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気付いた	[知技] 自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃづくりに際し、道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができています。

p.92～93		ことを記録カードにかく。	[思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。
ゆきや こおりで あそぼう			
・雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使う物をつくったり遊んだりする中で、季節の特徴を生かして遊びを創り出す面白さに気付くとともに、身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとするができるようにする。 p.94～95	外	・体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と遊びを楽しむ。 ・友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。	[思判表] 雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。 [態度] 身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとしている。
きせつの ことを つたえあおう			
・これまでの季節の活動を振り返る中で、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付くとともに、季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとすることができるようにする。 p.96～97	2	①冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。 ②冬の活動の様子と、夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて振り返り、デジタル紙芝居などで表現する。	[知技] 季節の変化に伴い、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付いている。 [態度] 季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとしている。
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
・地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとするができるようにする。 p.100～101	外	・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 ・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを覚えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。	[知技] 地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。

単元名	もうすぐ2ねんせい			教科書のページ	上 p.102～112
配当時数	17 時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容	(8)(9)

単元の目標	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、身近な人々との関わり合いのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝えようとするができることとともに、新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付くことができるようにする。 p.104～105	6	①入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を伝えたいかについて話し合う。 ②～④新しい1年生を迎える計画を立てたり準備やリハーサルをしたりする。 ⑤～⑥新しい1年生を招待して、一緒に活動する。終わった後、気付いたことをカードにかく。	[知技] 新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付いている。 [思判表] 1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら、新しい1年生との関わり方を決めている。 [態度] 新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。
しょうたいしたことをはなしあおう			
・新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合う中で、自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.106～107	2	①新しい1年生と関わった際の写真や動画などを見ながら、感じたことや気付いたことを話し合う。 ②一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送られてきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。	[知技] 自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。 [思判表] 新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合っている。
1ねんかんをふりかえろう			
・1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを見付けたり、まとめたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分	3	①写真や動画などの手がかりを基に、1年間の出来事をみんなで振り返る。 ②～③これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1	[知技] 友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的成長に気付いている。 [思判表] 1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできる

の内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.108～109		年間の成長を振り返る。	ようになったことを探したり、まとめたりしている。
おおきくなったじぶんをみつめよう			
・自分の1年間の成長をまとめる中で、自分の成長と周囲の人々との関わりを感じ、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付くとともに、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。 p.110～111	6	①自分の成長をまとめる方法を考える。 ②～④自分の成長をそれぞれの方法でまとめる。 ⑤～⑥まとめた物で遊び合ったり紹介し合ったりする中で、思ったことや考えたことを話し合う。	[知技] 自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。 [思判表] 自分の成長と、周囲の人々との関わりを感じ、支えてくれた人々がいることについて話している。 [態度] 周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

令和7年度(2025年度)

小学校生活科用

「新編 新しい生活」
年間指導計画作成資料
【2年(下巻)】

令和6年(2024年)7月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書のページ	下 p.1～7
配当時数	6 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(3) (5)

単元の目標	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、予想したり比べたりしながら身近な自然の特徴を捉え、自然の様子や四季の変化、季節に合わせて自分たちの生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心を持ち、安全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、安全に気を付けて行動し、自然の様子や四季の変化、季節によって自分たちの生活が変わることに気付いている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然のよさを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価基準
校で 春を さがそう			
・ 春の自然を観察する中で、予想したり比べたりしながら自然の特徴を捉え、春の自然の様子や季節の移り変わりに気付くとともに、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 p.2～3	3	①～②これまでの経験を基に季節の変化を予想しながら、校庭で春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりする。 ③気付いたことや感じたことを友達と伝え合ったり、記録カードにかいたりする。	[知技] 春の自然の様子や季節の移り変わりに気付いている。 [思判表] 季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。 [態度] 季節ごとの自然のよさを実感し、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとしている。
まちで 春を さがそう			
・ 安全に気を付けながら学校周辺の地域を歩く中で、季節の変化に合わせて地域の人々の生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心をもって、春のまちを歩こうとすることができるようにする。 p.4～5	3	①学校周辺の地域を歩いて春を探す計画を立てる。 ②学校周辺の地域に出かけ、安全に気を付けて歩いたり地域の人と適切に関わったりしながら、春を探す。 ③教室に戻り、まちの絵地図を見ながら、気付いたことや感じたことを伝え合い、記録カードにかく。	[知技] 季節の変化に合わせて、自分たちの生活が変わることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 学校周辺の地域を歩く際、安全に気を付けて行動している。 [態度] 地域の場所や人々に関心を持ち、安全に気を付けながら春のまちを歩こうとしている。

単元名	ぐんぐん そだて わたしの 野さい			教科書のページ	下 p.8～19
配当時数	10 時間	活動時期	4～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
そだてる 野さいを きめよう			
・野菜を育てたいという思いをもち、栽培する時期や場所などの条件を意識しながら自分が育てたい野菜を決め、たねまきや苗植えをしようとすることができるようにする。 p.10～11	3	①～② 1年生での経験を想起したり教科書や図鑑、インターネット等を使って調べたりしながら、自分で栽培する野菜を決める。 ③ たねをまいたり苗を植えたりしながら、気付いたことを友達や先生と話したり記録カードにかいたりする。	[思判表] 栽培する時期や場所などの条件を意識しながら、自分の育てたい野菜を決めている。 [態度] 野菜を育てたいという思いをもち、野菜の成長への期待を話すなどしながら、たねまきや苗植えをしようとしている。
野さいの せわを しよう			
・1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら世話の仕方を決める中で、自分が育てている野菜の変化や成長に気付くとともに、野菜の状況に応じて、あきらめずに世話を続けることができるようにする。 p.12～13	2	① 野菜の様子を紹介し合い、必要な世話について話し合ったり、本やインターネット等で調べたりする。 常時活動 野菜の様子を観察し、必要に応じた世話をする(草取りや施肥、支柱立て、芽かき、網かけなど)。 ② 野菜の様子を紹介し合ったり、必要な世話について話し合ったりしながら世話をし、野菜の成長の様子や世話の様子などを記録カードにかく。	[知技] 自分が育てている野菜の変化や成長に気付いている。 [思判表] 1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら、世話の仕方を決めている。 [態度] 育てている野菜の状況に応じて、友達に相談したり本で調べたりしながら、あきらめずに世話を続けようとしている。

野さいのようすをつたえ合おう			
・ 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、世話の仕方を見直す中で、異なる植物にも同じような特徴や性質があることに気付くことができるようにする。 p.14～15	2	①～②野菜の成長を報告する会を開き、育てている野菜の成長の様子や世話の仕方を紹介し合い、気付いたことを記録カードにかく。 常時活動 話し合ったことを生かし、朝の時間や休み時間などを使って野菜の世話を続ける。	[知技] 異なる植物にも同じような特徴や性質があることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で、植物の世話をしている。 [思判表] 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、世話の仕方を見直している。
野さいをしゅうかくしよう			
・ 自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことや適切に世話をすることができるようになったことに気付くとともに、植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとすることができるようにする。 p.16～17	3	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って野菜の様子を観察し、熟した野菜を収穫する。 ①収穫したときのことを振り返り、気付いたことを紹介し合う。 ②～③かきためてきた記録カードをまとめて友達と紹介し合ったり、野菜を育てる中でお世話になった方に感謝の気持ちを伝えたりする。	[知技] 自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことや適切に世話をすることができるようになったことに気付いている。 [態度] 植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとしている。

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書のページ	下 p.20～29
配当時数	10 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり人がいることや地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付くとともに、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり人がいることや、地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付いている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちのことを話そう			
・友達と身近な地域のことを話す中で、自分の知っている場所のほかに、まだ知らないさまざまな場所があることに気が付き、地域に探検に行きたいという思いを高めることができるようにする。 p.22～23	1	①地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話合う。	[知技] 地域には、自分の知っている場所のほかに、まださまざまな場所があることに気付いている。
たんけんの計画を立てよう			
・行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、友達や自分の行きたい場所や時間に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりして、探検の計画を立てようとするができるようにする。 p.24～25	3	①探検に行きたい場所について話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ②グループごとに探検の計画を立て、計画書に記入する（探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど）。 ③探検の計画や、探検のルール・マナーを確認し、探検に出かける準備をする。	[思判表] 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。 [態度] 友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりしようとしている。
まちをたんけんしよう			
・自分の生活とのつながりを意識しながらまちを探検する中で、身近な地域の場所や物が自分の生活と関わっていることに気付くことができるようにする。 p.26～27	3	①～③グループごとに探検に行く。	[知技] 身近な地域の場所や物が、自分の生活と関わっていることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 地域を探検する際、定められた時刻を守っている。 [思判表] 自分の生活とのつながりを意識しながら、まちを探検している。

見つけたことをつたえよう			
・探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたいことを選び、伝える中で、地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることや、それらの場所が自分たちの生活を楽しくしていることに気づき、それらを自分たちの生活に生かそうとすることができるようになる。 p.28～29	3	①探検で見付けたことをグループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。 ②見付けたことの中で、いちばん伝えたいことを付箋にかき、絵地図に貼る。 ③絵地図を見ながら、自分たちが見付けたことや分かったことなどを発表する。	[知技]身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。 [思判表]探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたいことを選び、友達に伝えている。 [態度]身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に生かそうとしている。

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	下 p.30~43
配当時数	10 時間	活動時期	6~7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
学校の 近くの 生きもの の ことを 話そう			
・ 生き物を飼ってみたいという思いをもち、1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら生き物を探す計画を立てる中で、生き物を飼うために必要なことについて調べようとするができるようにする。 p.32~33	2	① 1年生での経験や、まち探検での学びを基に、身近にいる生き物の様子を伝え合う。 ② 話し合ったことを基に、探しに行く場所を決め、生き物を探す計画を立てる。また、教科書や図鑑、PC等を使い、生き物のことを調べたり考えたりする。	[思判表] 1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら、生き物を探す計画を立てている。 [態度] 生き物を飼ってみたいという思いをもち、生き物を飼うために必要なことについて調べようとしている。
生きものを さがそう			
・ 前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら生き物を探す中で、生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付くことができるようにする。 p.34~35	2	①~② 学校や地域の公園などで生き物を探し、教室に戻った後、気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付いている。 [思判表] 前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら、生き物を探している。
生きものを そだてよう			
・ 生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続ける中で、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付くことができるようにする。 p.36~37	3	① 第1次で調べたことを基に、生き物がどのような環境で育ち、何を食べるのか再確認し、飼育環境を整える。 ②~③ 調べたり聞いたりしたことなどを基に、それぞれの生き物に応じた世話をする。 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、継続的に世話や観察をする。活動後に気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で生き物の世話をしている。 [思判表] 生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続けている。

生きもののことをふりかえろう			
・これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめたい内容にふさわしい方法を選び、表現する活動を通して、自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、これからも大切にしようとするができるようにする。 p.38～39	3	①～②これまでの活動や、カード等の記録を基に、生き物のために頑張ったことや自分たちができるようになったことを友達と伝え合い、作品にまとめる。 ③つくった作品を紹介し合った後、飼育してきた生き物をどうするかについて話し合う。	[知技] 生き物の立場に立って自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付いている。 [思判表] これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめたい生き物の特徴や成長について、ふさわしい方法を選び、表現している。 [態度] 継続的に世話をしてきた生き物に親しみを持ち、これからも生き物を大切にしようとしている。

単元名	うごく うごく わたしのおもちゃ			教科書のページ	下 p.44～57
配当時数	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(6)

単元の目標	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりするなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
いろいろなおもちゃで あそんで みよう			
・おもちゃの動く仕組みに着目しながら見本のおもちゃで遊ぶ中で、身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付くことができるようにする。 p.46～47	1	①見本のおもちゃで遊び、自分のつくりたいおもちゃを決める。	[知技] 身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付いている。 [思判表] おもちゃの動く仕組みに着目しながら、見本のおもちゃで遊んでいる。
うごく おもちゃをつくろう			
・つくりたいおもちゃを思い描きながら使う材料を選び、つくる中で、材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。 p.48～49	3	①～③見本のおもちゃや教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選んだり、材料を組み合わせたりして自分のおもちゃをつくる。	[知技] 材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃをつくったり遊んだりする際、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。 [思判表] つくりたいおもちゃを思い描きながら、使う材料を選んでいる。
もっとよく うごく おもちゃにしよう			
・おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながらおもちゃをつくる中で、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に一定の関係性があることに気付き、繰り返し改良しようとするができるようにする。 p.50～51	3	①自分がつくったおもちゃで友達と遊んだり競争したりするなどして、気付いたことを話し合う。 ②～③おもちゃを工夫して改良しながら遊び、よりよく動くように、グループで話し合ったり試して遊んだりする。	[知技] 自分がおもちゃに加えた工夫と、おもちゃの動きとの間には、一定の関係性があることに気付いている。 [思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、おもちゃを改良している。 [態度] 自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、繰り返しおもちゃを改良しようとしている。

みんなと あそぼう			
・ みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めて遊ぶ活動を通して、自分が工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとすることができるようになる。 p.52～53	5	① みんなで楽しく遊ぶ活動について話し合う。 ② みんなで遊ぶ活動に向けて準備をする。 ③～④ みんなで楽しく遊びながら、ルールや遊び方を工夫したりおもちゃを改良したりする。 ⑤ これまでの学習活動を振り返り、記録カードにかく。	[知技] 自分がルールや遊び方を工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 [思判表] みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めている。 [態度] みんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。

単元名	みんなでつかうまちのしせつ			教科書のページ	下 p.58～67
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

単元の目標	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
図書かんをつかおう			
公共施設への関心や期待をもちながら図書館を利用する中で、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付くとともに、それらを正しく利用しようとするができるようにする。 p.60～61	3	① 図書館を利用することについて話し合い、出かけるための準備をする。 ②～③ 地域の図書館に出かけ、本を読んだり借りたりするなどして図書館を利用する。	[知技] 図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 図書館を利用する際、公共の場所でのルールやマナーを守っている。 [態度] 図書館などの公共施設への関心や期待をもちながら、それらを正しく利用しようとしている。
図書かんのことを聞いてみよう			
図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら図書館にいる人と関わる中で、図書館には多様な人々が利用しやすいような工夫があることやそれを支えている人の存在に気付くとともに、それらがまちの人たちの暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとするができるようにする。 p.62～63	2	① 地域の図書館に出かけ、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ② 学校に戻り、図書館での学習活動を振り返り、記録カードにかく。	[知技] 図書館には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすいような工夫があることや、それを支えている人の存在に気付いている。 [思判表] 図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、図書館で働く人と話したり質問したりしている。 [態度] 図書館は多様な人々の暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。

みんなでつかうしせつのことを話し合おう			
・身の回りにある公共施設について友達と話し、自分たちの地域にはみんなで使うためのさまざまな施設があり、それらを支えている人がいることに気付くことができるようにする。 p.64～65	I	①地域の公共施設について話し合う。	[知技] 自分たちの暮らす地域には、みんなで使うためのさまざまな施設があることや、それらを支えている人がいることに気付いている。

単元名	もっと なかよし まちたんけん			教科書のページ	下 p.68～79
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付けている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たんけんの 計画を 立てよう			
・ 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めるなど、探検の計画を立てようとするができるようにする。 p.70～71	2	①探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ②グループごとに探検の計画を立てて計画書に記入する（探検場所、聞きたいこと、持ち物、探検のルールやマナーなど）。	[思判表] 春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めている。 [態度] 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、探検の計画を立てようとしている。
もう いちど たんけん に 行こう			
・ 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりする中で、地域には働く人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。 p.72～73	3	①～②グループごとに探検に行く。 ③探検活動を振り返り、気付いたことや学んだことを記録カードにかく。	[知技] 地域には働く人や生活している人がいることに気付いている。 [知技（習慣や技能）] 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。 [思判表] 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりしている。

見つけたことを話し合おう			
・ 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら地域のことを話し合う中で、地域にはさまざまな工夫をしながら働いたり生活したりしている人がいることに気付くとともに、探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとすることができるようになる。 p.74～75	2	①探検で見付けたことを、グループごとに整理し、全体の場で紹介し合う。 ②グループごとに、次の探検の計画を立てる。	[知技] 地域にはさまざまな工夫をしながら、働いたり生活したりしている人がいることに気付いている。 [思判表] 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら、地域のことを話し合っている。 [態度] 探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。
まちの人に聞きに行こう			
・ 地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問する中で、探検で関わった地域の人、地域に寄せる思いに気付くことができるようになる。 p.76～77	3	①各グループで前時の学習活動を踏まえて探検の内容を検討し、計画を見直して、探検の準備をする。 ②～③グループごとに探検に行く。	[知技] 探検で関わった地域の人、地域に寄せる思いに気付いている。 [思判表] 地域で働いたり生活している人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問している。
分かったことをつたえ合おう			
・ 自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて話す中で、地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付くとともに、地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとすることができるようになる。 p.78～79	2	①探検で分かったことを、グループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。 ②まち探検で分かったことを紹介し合う。	[知技] 地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付いている。 [思判表] 自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて伝え合っている。 [態度] 地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとしている。

単元名	つながる 広がる わたしの 生活			教科書のページ	下 p.80～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(3) (4) (8)

単元の目標	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようにする。
-------	---

単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちの すてきを 話し合おう			
・ 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、伝える相手のことを想像しながら伝えたいことを選ぶ中で、詳しく調べたいことがあることに気づき、もっと調べようとするができるようにする。 p.82～83	3	①秋の探検で出会った人や見付けたことを振り返り、記録カードにかく。 ②出会った人や見付けたことなどの「まちのすてき」を友達と伝え合う。 ③「まちのすてき」を地域の人などに伝える計画について話し合う。	[思判表] 誰に伝えるかを思い描きながら、伝えたいことを選んでいる。 [態度] 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、もっと詳しく調べようとしている。
もっと くわしく しらべよう			
・ 伝える相手のことを想像しながら、電話やビデオ通話等を適切に使って伝えたいことについて調べる中で、相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付くことができるようにする。 p.84～85	3	①伝えたいことや、そのためにもっと詳しく知りたいこと、調べる方法について話し合う。 ②～③話し合って決めた調べ方に沿って、さらに詳しく調べる。	[知技] 相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 地域の人に連絡をする際、電話やビデオ通話等を適切に使っている。 [思判表] 相手のことを想像しながら、伝えたいことを詳しく調べている。
つたえたい ことを まとめよう			
・ 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選ぶ中で、伝える相手に応じた伝え方があることに気付くとともに、適切な方法で表現しようとするができるようにする。 p.86～87	3	①詳しく調べたことを整理してまとめる。 ②～③調べてまとめたことについて、どうすれば相手に伝わるか話し合い、作品にまとめたり、伝える準備をしたりする。	[知技] 伝える相手に応じた伝え方があることに気付いている。 [思判表] 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んでいる。 [態度] 伝える相手や内容に応じて、適切な方法で表現しようとしている。

まちの すてきを とどけよう			
・ 地域のよさを相手に伝えたり交流したりする活動を通して、互いの気持ちがつながる心地よさに気付くとともに、身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで関わろうとすることができるようにする。 p.88	3	①～②グループでまとめたことを、地域の人に伝える。 ③地域の人に伝えたり、感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。	[知技] 交流することで、互いの気持ちがつながる心地よさに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 適切な方法で訪問や連絡、依頼を行っている。 [態度] 身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。
まちの 人を しょうたいしよう			
・ 伝える相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、地域のよさを伝える活動を通して、自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとするができるようにする。 p.89	外	・ 保護者や地域の人など、身近な人々を学校に招待するための準備をする(手紙やポスターなど案内の作成、発表会の練習)。 ・ 招待した人々に、心に残った地域での出来事を伝えたり感想を聞いたりする。	[思判表] 伝えたい相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、伝えている。 [態度] 自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとしている。

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書のページ	下 p.92～102
配当時数	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	(9)

単元の目標	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや自分が大きくなったこと、役割が増えたことに気付いている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
せい長した 自分の ことを ふりかえろう			
これまでの表現作品などを手がかりに、入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどについて話す中で、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.94～95	3	①～② 写真や動画、記録カード、作品などを手がかりに、入学してから自分でできるようになったことを振り返る。 ③ 振り返る中で気付いた自分の成長を、グループや全体で紹介し合う。	[知技] 自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどに気付いている。 [思判表] 入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったことなどについて話している。
せい長した 自分の ことを 見つめよう			
自分のことをもっと知りたいという思いをもち、自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら自分の成長について話す中で、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付くことができるようにする。 p.96～97	6	①～② 友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。 ③～⑤ 家の人や成長を支えてくれた人などに、自分の成長についてインタビューする。 ⑥ 友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに、過去の自分と比較し、自分の成長について話したりカードにかいたりする。	[知技] 体の成長や役割が増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。 [思判表] 自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら、自分の成長について話している。 [態度] 自分のことをもっと知りたいという思いをもち、身近な人に聞いて調べようとしている。

自分のことをまとめよう			
・自分の成長についてまとめた いという思いをもち、いちばん かきたいことを選び出し、ふさ わしい方法で表現する中で、 自分自身のよさや可能性に気 付くことができるようにする。 p.98～99	9	①前時までに調べたことを基に、ど んな出来事をどんな方法でまとめ るか決める。 ②～⑦資料や材料を集め、方法を工 夫しながら、自分の成長をまとめ る。 ⑧～⑨つくった作品を友達と紹介し 合い、まとめたことを振り返った り、友達の作品を参考にして、さら に工夫したりする。	[知技] 自分自身のよさや可能性 に気付いている。 [思判表] 自分の成長について気 付いたことの中から、いちばんか きたいことを選び出し、ふさわし い方法で表現している。 [態度] 自分の成長についてまと めたいという思いをもち、適切な 方法で表そうとしている。
ありがとうの気持ちを つたえよう			
・周囲の人々の存在と自分の成 長を関連付け、周囲の人々に 感謝の気持ちを伝える活動を通 して、自分がたくさんの人に 支えられて成長していることに 気付き、3年生でも意欲的に 生活しようとすることができる ようにする。 p.100～101	9	①～②招待したい人を決め、伝えたい 内容を話し合い、発表会の計画 を立てる。 ③～⑤発表の準備をする。 ⑥～⑧発表会を開く。 ⑨発表会を振り返り、話し合う。	[知技] 自分がたくさんの人に支 えられて生活し成長していること に、気付いている。 [思判表] 周囲の人々の存在と自 分の成長を関連付け、感謝の気 持ちは話している。 [態度] これまでの生活や成長を 支えてくれた人々に感謝の気持 ちをもち、3年生でも自分のよさ や可能性を生かして意欲的に生 活しようとしている。